

肺癌取扱い規約第8版・・・肺癌細胞型分類表

	細胞					細胞質		核・細胞質比増大	核					核小体			特徴所見
	配列	大小不同	多形性	結合性	形	染色性	性状		位置	形	大小不同	核縁	クロマチン	形	大きさ	数	
腺癌	立体・平面	+	+	密	円・楕円	青緑	時に重厚 淡明・泡沫	++	偏在・中心	円	+	極めて薄い 切れ込み	細網・細顆粒・密顆粒状	円	大	1個・明瞭	印環細胞 粘液空胞
扁平上皮癌	非角化	++	+	疎	類円・多辺	青緑・淡褐	やや重厚 淡明	++	中心・偏在	類円	+	やや厚い 切れ込み	粗顆粒 細顆粒	円・不整	中・大	少数	
	角化	+++	+++	極めて疎	多様	多彩	層状重厚	+	種々	不整	+++	薄く均等 粗剛	粗顆粒 細顆粒	不整	小・大	数個	壊死背景 角化

2017年肺癌取扱い規約第8版

腺癌と扁平上皮癌の鑑別

腺癌(構造所見)		扁平上皮癌(構造所見)
孤在性		流れ様配列
シート状		層状配列
立体的・不規則重積性		敷石状配列
乳頭状	↔	細胞集塊辺縁の扁平化
微小乳頭状		毛羽立ち
腺腔(腺様)配列		細胞集塊辺縁の不整
細胞集塊辺縁の核の突出		細胞相互封入
柵状配列		
亀甲状・蜂巢状		

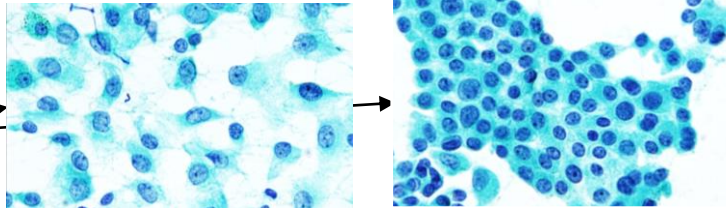
黒字: 第7版までの既出用語、赤印: 第8版からの新出用語

構造所見

細胞像

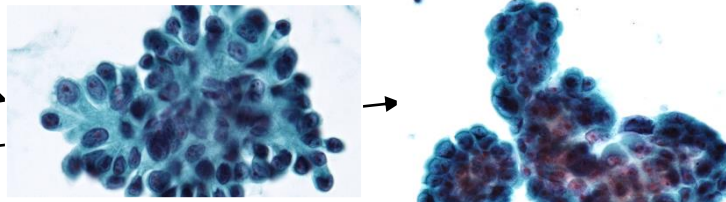
組織型

孤在性・シート状



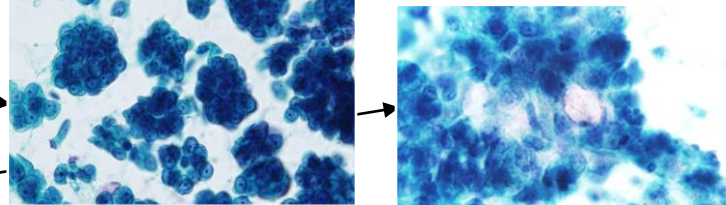
上皮内腺癌
微少浸潤性腺癌
浸潤性腺癌(置換型)

立体的・不規則重積性
細胞集塊辺縁の核突出



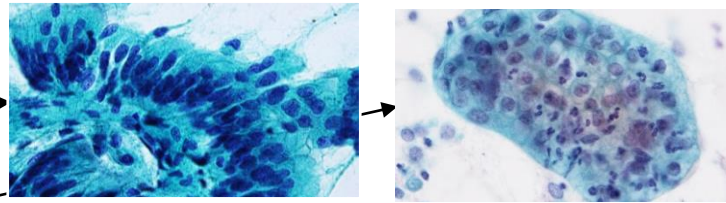
浸潤性腺癌
浸潤性腺癌(乳頭型)

乳頭状



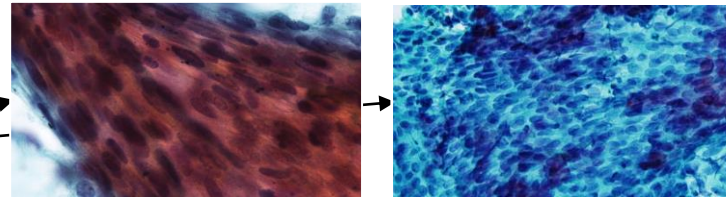
浸潤性腺癌(微小乳頭型)
浸潤性腺癌(腺房型)

微小乳頭状



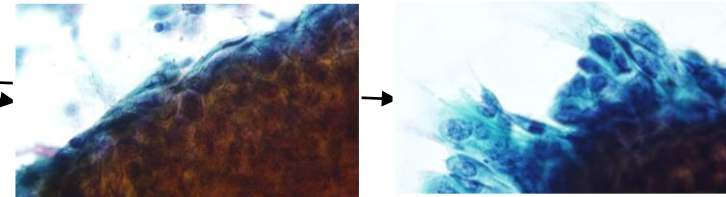
浸潤性腺癌(乳頭型)
腸型腺癌
粘液性腺癌
(非浸潤性、浸潤性)
大腸癌の肺転移

腺腔様配列



扁平上皮癌
(非角化型、類基底細胞型)

柵状配列



扁平上皮癌
(非角化型、類基底細胞型)

亀甲状・蜂巢状

流れ様配列・層状配列
敷石状配列

細胞集塊辺縁の扁平化
細胞集塊辺縁の毛羽立ち

日本肺癌学会

細胞診判定規準改訂委員会 構造異型を加味した細胞判定WG

委員長	羽場礼次	香川大学医学部附属病院病理診断科・病理部
委員	吉澤明彦	京都大学医学附属病院病理診断科
委員	河原邦光	神戸大学地域連携病理学
外部委員	竹中明美	近畿中央大学臨床細胞学研修センター
外部委員	三宅真司	東京医科大学病院病理細胞診断科
外部委員	柿沼廣邦	熊本大学病院病理部
協力委員	澁木康雄	国立がん研究センター中央病院 臨床検査科・病理診断科
協力委員	酒井麻衣	神奈川県立がんセンター検査科
協力委員	梶尾健太	大阪はびきの医療センター病理診断科
協力委員	清永加菜	香川大学医学部附属病院病理部

腺癌と扁平上皮癌を細胞学的に鑑別するための 構造所見に関して(検討事項)

- ・ 腺癌と扁平上皮癌を細胞学的に鑑別するため重要な構造所見15項目を選択した。
- ・ この15項目に関して、実際の細胞像をみながら委員全員で目合わせと定義に関して概略を決定した。
- ・ WG委員10名の各施設(8施設)で、上記15項目に関する細胞像を顕微鏡で撮影し、計510枚の写真を集積した。各委員が定型例や非定型例を含めて自由に撮影した。
- ・ この510枚の写真を再度、WG委員が個々に検討し、用語に対して○(定型例)、△(どちらとも言えない例)、×(非定型例)で投票した。
- ・ 投票結果を元に最終的に個々の写真を、用語に対して定型例(80%以上で一致)、どちらとも言えない例(50~70%で一致)、非定型例(40%以下で一致)に分類し、委員で閲覧しながら、定義について再度、議論を行った。
- ・ 最終的に15項目に関する定義を明確化したと同時に、用語に対しての定型例(80%以上の一致率)を主体としたアトラスを作成した。また、同時に非定型例の写真も提示した。

標準化の必要な構造所見

腺癌

- ① 孤立性
- ② シート状
- ③ 不規則重積性
- ④ 乳頭状
- ⑤ 微小乳頭状
- ⑥ 腺腔様
- ⑦ 柵状配列
- ⑧ 細胞集塊辺縁の核の突出
- ⑨ 蜂巣状/亀甲状

扁平上皮癌

- ⑩ 流れ様配列
- ⑪ 層状配列
- ⑫ 細胞集塊辺縁の扁平化
- ⑬ 細胞集塊辺縁の細胞質の突出
- ⑭ 細胞相互封入
- ⑮ 細胞間の空隙

➡ 定義と細胞所見の見直しを検討

構造所見

推定される組織亜型

孤立性・シート状

上皮内腺癌、微小浸潤性腺癌、置換型腺癌

不規則重積性
細胞集塊辺縁への核の突出

浸潤性腺癌

乳頭状

乳頭型腺癌

微小乳頭状

微小乳頭型腺癌

腺腔様

腺房型腺癌

柵状配列

乳頭型腺癌、腸型腺癌、
浸潤性粘液性腺癌、大腸癌の肺転移

亀甲状・蜂巢状

浸潤性粘液性腺癌、上皮内腺癌(粘液性)、
微小浸潤性腺癌(粘液性)

流れ様配列・層状配列

扁平上皮癌(非角化型、類基底細胞型)

細胞集塊辺縁の扁平化
細胞集塊辺縁の細胞質の突出

扁平上皮癌(非角化型、類基底細胞型)

構造所見に関する定義のまとめ

	構造	定義
1	孤立性	細胞の結合性が低下し、バラバラに存在する。
2	シート状	大部分の細胞が1層の平面的な配列をしている。
3	不規則重積性	3層以上の重なり合いがみられる立体的な細胞集塊で、不規則な配列が認められる。
4	乳頭状	重積性を示す中型から大型細胞集塊で、さらに集塊の一部が辺縁から半島状に突出している。線維血管性の間質軸の有無に関わらない。
5	微小乳頭状	構成細胞数が3~20個程度で、花冠状、球状、桑実状の小型集塊であり、間質軸を伴わない。
6	腺腔様	細胞集塊内に円形の空隙がみられ、細胞が空隙を取り囲むように配列する。
7	柵状配列	円柱状の細胞が一定の間隔をおいて列をなして並んでいる。
8	細胞集塊辺縁の核の突出	細胞集塊の辺縁から核が突出している。
9	蜂巢状/亀甲状	中心性核、明瞭な細胞境界がみられる平面的な細胞集塊で、蜂の巣や亀の甲羅のようにみえる。
10	流れ様配列	細胞集塊内で楕円形核や紡錘形核が、長軸方向に沿って、一定方向に流れるような配列を束状に認める。
11	層状配列	核間距離が保たれた平面的な集塊が、重積して認められる。
12	細胞集塊辺縁の扁平化	細胞集塊辺縁の核が細長く、紡錘形様に扁平な形状を認める。
13	細胞集塊辺縁の細胞質の突出	細胞集塊辺縁で細胞質が突起状に突出している、あるいは細かい毛のようにバサバサして認められる。
14	細胞相互封入	一つの腫瘍細胞がもう一つの腫瘍細胞を貪食している、あるいは包み込んだ様に結合している。
15	細胞間の空隙	細胞と細胞の間に隙間が認められる。